

いつも、
あなたの
ありがとう
なりたい。

GAS Energy
Communication
COMPANY

日本海ガス絆ホールディングスグループ



日本海ガス絆ホールディングス株式会社

2025グループ中期経営計画

2025 グループ中期経営計画

- 1 NEXT Vision について
- 2 2022-2024 グループ中期経営計画振り返り
- 3 2025 グループ中期経営計画
- 4 取り組み

日本海ガス絆ホールディングスグループ

経営理念

快適で豊かなくらしの創造と
地球にやさしい環境づくりに貢献する
総合エネルギーグループを目指す

企業行動指針

「日本海ガス絆ホールディングスグループ」が
あってよかったと思っていただける企業グループになるべく、
ステークホルダーの皆さまとともに、
持続可能な社会の実現に向けた価値創造を行います。

私たちの価値観

「絆」を大切にする

私たちのグループは、
どんな時代においても、
お客さまとの絆、社員どう
しの絆、地域との絆など、
ステークホルダーとの絆
を大切にします。

みんなでつくる

私たちのグループは、
あらゆる価値観、個性、特
徴を尊重し、会社とそこに
関わるすべての人たちとワ
ンチームとなり価値をつ
くります。

変わりつづける

私たちのグループは、
チャレンジ、ベンチャー、
ネバーギブアップの精神を
胸に、時代の先を見据え、
常に事業活動と企業行動を
アップデートしていきます。

1

NEXT Visionについて

日本海ガス絆ホールディングスグループでは、2030年に当社グループが目指すべき姿を示した「NEXT Vision」を2020年に策定しました。

お客様の快適で豊かなくらしと地球にやさしい環境づくりへの貢献を念頭に、総合エネルギーグループとして2030年に向けた目標を掲げています。

NEXT Vision では、富山県の人口推移 ワークスタイル ライフスタイル ファイナンス の観点から

2030年に顕在化する企業と社会の課題を予測し、日本海ガス絆ホールディングスグループとして未来のありたい姿を実現するため5つの経営課題を設定しました。

グループ経営理念に基づく経営を展開し、地域社会の発展へ貢献することで更なる事業拡大へつながる好循環を生み出し、地域と共に持続的な成長を目指します。



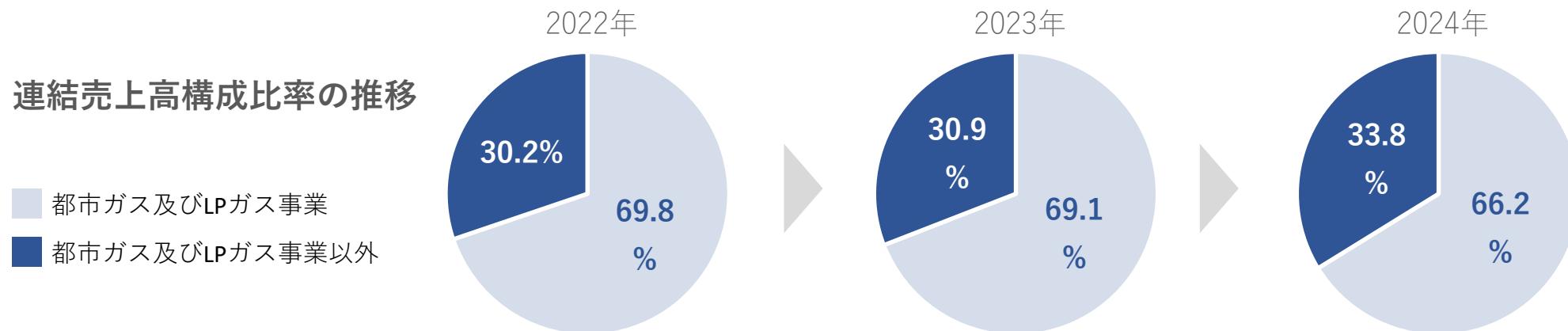
2

2022-2024 グループ中期経営計画 振り返り

「2022グループ中期経営計画」は、「NEXT Vision」実現のために、2022～2024年の3ヵ年で達成すべき目標や経営ビジョンを基に策定しました。

「NEXT Vision」で設定した5つの経営課題に対して、グループ全体がグループ経営の視点を持ち、課題解決に向けて取り組みました。

数値結果



経営課題 1 社員の成長支援・多様な働き方への対応

当社グループ全体における人材の育成及び確保に寄与する施策として、以下のような取り組みを展開しました。

- テレワーク、フレックス制度の導入
- 休日数増加などグループ内人事待遇統一に向けた取り組み
- 通年オフィスカジュアル制度の導入
- 職群転換制度など多様なキャリアプラン構築への対応

グループ社員が働きやすい環境を実現するため、時代に合わせた制度の見直しなど常に改善を続けております。

経営課題 2 既存事業の収益性向上と規模の拡大

当社グループでは、事業ごとに新たなお客さまの拡大施策に取り組みました。中核をなす日本海ガスでは、都市ガス及びLPガスのお客さま戸数を増やし、持続的に規模を拡大しております。



経営課題 3 総合エネルギーグループへの進化



当社グループがこれまで培ってきた技術やノウハウだけでなく、新たな知見を獲得しながら、お客さまのニーズを先取りした様々なサービスを拡充し、お客さまの脱炭素化への取り組みをサポートするため2023年4月に「㈱ネクストプラス」を設立いたしました。

また、2024年5月には「㈱北陸電設」をグループの一員とし、総合エネルギーグループへの進化を目指とともに、これまで以上にお客さまとの関係を深化させながら地域課題の解決にも貢献してまいります。

経営課題 4 トータルライフ事業の実現

TOSUMOブランドを通じて、従来のガス会社の枠を超えて、地域に密着した商品やサービスを提供し、お客様のくらしと人生を明るく・豊かにすることを目指しています。



TOSUMO
tosumo life style

TOSUMO 建築設計

経営課題 5 新たな事業の創出

新たな事業領域の探索を進め、アクセラレータープログラムを開催しました。また、日本海ラボではCVC活動を開始しました。



3

2025 グループ中期経営計画

2025年は「NEXT Vision」の達成へ向かう中間地点となります。当社グループでは、前回に引き続き2025～2027年の3ヵ年における目標を定めた中期経営計画を策定しました。

テーマ

ウェルビーイングと成長を 追い求め、地域を元気に

日本海ガス絆ホールディングスグループは、社員全員と力を合わせ、“ウェルビーイング”と“成長”的両方を追求していきます。

『NEXT Vision』の達成に向け、グループ各社の経営を安定させ、収益力を高めるとともに、次の時代に向けた投資と組織改革を進め、持続的に成長ができる会社づくりを進めます。また、地域の皆様のお役に立つことができる新しい事業を探索し、積極的に取り組んでいきます。

そして、グループの成長をより一層ステークホルダーと社員に還元できるように努め、日本海ガス絆ホールディングスグループから地域を元気にしていきます。地域が元気になれば私たちの事業ももっと大きくなります。そんな“ウェルビーイング”と“成長”的好循環を生み出せるグループを目指す3年間にしてまいります。

2025グループ中期経営計画 基本方針

基本方針

グループ全体での NEXT Vision 達成

重点課題

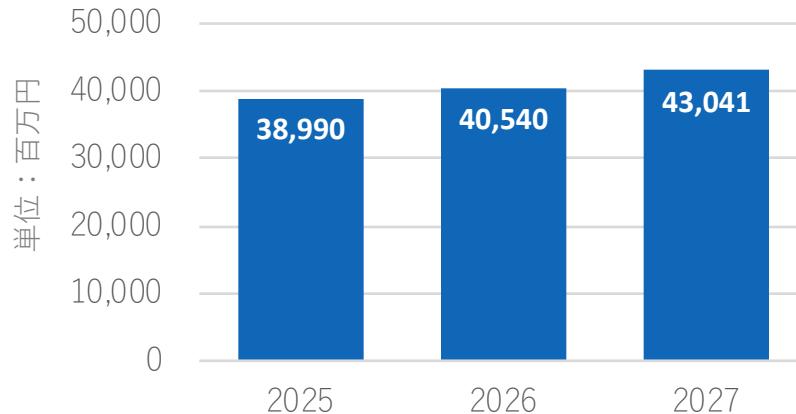
- ① 「NEXT Vision」を達成するために必要なグループ経営体制の構築
- ② グループ内の適正な利益配分をふまえたグループ各社の収支安定と目標利益の達成
- ③ グループ全体のDXと業務効率化の推進

これから3年間、さらなるDXと働き方改革、待遇向上に取り組み、グループ社員がさらにいきいきと働き続けられる職場をつくりていきます。そして、「NEXT Vision」達成に必要な経営基盤をグループ全体で構築し、グループ間での協力や共創といったシナジー効果を最大限発揮できるような体制づくりを目指します。

数値目標

グループ収支想定

売上高

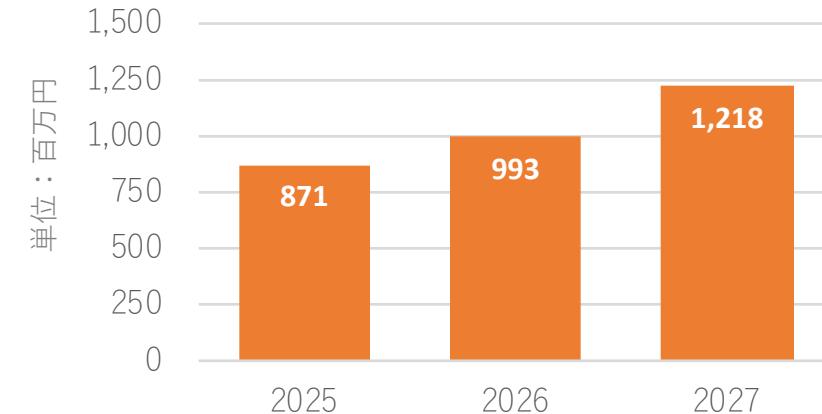


2027年 売上高

合計430億円を目指す

(単純合算、日本海ガス純ホールディングスを除く)

営業利益



2027年 営業利益

合計12億円を目指す

(単純合算、日本海ガス純ホールディングスを除く)

当社グループでは2030年の目標として、都市ガス及びLPガス事業以外における連結売上高構成比率50%を目指しております。その中で、2025グループ中期経営計画のゴールである2027年目標として、都市ガス及びLPガス事業以外における連結売上高構成比率44%の達成を目指します。

4

取り組み

2025グループ中期経営計画を踏まえ、グループ各社にて目標達成に向けたアクションプランを策定しました。「NEXT Vision」で掲げた5つの経営課題に則し、次の3ヵ年における重点的な取り組みをご紹介いたします。

社員の成長支援・多様な働き方への対応

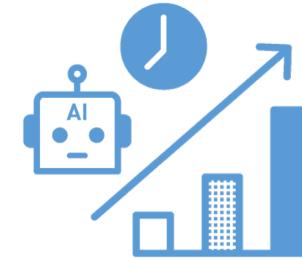
制度改定とDXを軸とした生産性向上及び社員のウェルビーイング実現

待遇向上・福利厚生 の充実



- 時代に合せた労働条件や労働環境の整備により、グループ社員のエンゲージメント向上だけでなく、優秀な人財の確保につなげる
- グループ社員の心と体の健康を維持しながら「NEXT Vision」の達成に必要なグループ社員の成長を後押しする機会とグループ社員が活躍できる場を提供

DXによる 業務負荷軽減



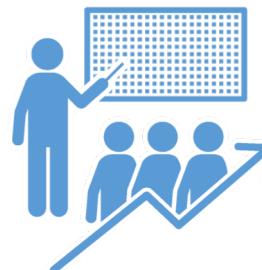
DX推進における過程で業務フローを見直し、不要な業務の削減等による業務効率化を図り、ワーク・ライフ・バランスを促進

人事制度の最適化 と 評価体制の構築



- 人財データの一元化を実現し、グループ内における更なる人財活用を推進
- 経歴・スキルなどあらゆるデータの見える化を実現し、最適な人員配置体制の構築を図る
- 社員それぞれが理想とするキャリアプランを実現できる制度を充実し、ワークエンゲージメントの向上を図る

教育体制の強化による 成長支援



- 階層別・年代別の計画的な教育制度を拡充させ、ビジネススキルのベースアップを目指す
- ITスキル向上に寄与する講習や資格制度を拡充させ、DXやデジタル化への適応を支援

既存事業の収益性向上と規模の拡大

お客さまニーズの把握と最適なソリューション提案による競争力強化

エネルギー

事業基盤の強化による拡販体制構築



新たな需要エリアの開拓による
戦略的かつ効果的な販売量増大



サブユーザーとの関係強化による
新規開発戸数確保とシェア拡大

- カーボンオフセット対応など環境配慮型メニューの拡充
- PFI事業や重点対策加速事業、官民連携事業への積極的な関与
- グループ組織力を活かした機動的な提案活動の実現
- エネルギー事業拡大を目指す導管網の整備
- LPガス省令改正に適応した競争力の高いガス料金の検討



DX推進による効果的な営業活動の構築

- SFA活用による効率的で迅速かつ的確な提案活動の徹底
- AIを活用した新たな営業スタイルの確立
- LPWA設置推進による配送連携の高度化と調達体制の堅固化

設備

企業間連携の強化

- サブコン・管材店との接点強化による設備機器トータル販売の検討
- 拠点エネルギー会社との接点強化による販路拡大
- 協業会社との連携体制強化による存在価値向上

配達

収益基盤の確立と 経営資源の最適な活用

- 適正な算定根拠の共有・交渉による収益確保
- 事業別収支検証体制の確立による事業ごとの利益確保
- DX促進による作業ミス削減や徹底した業務効率化

工事

安全・品質の確保と 経営基盤の強化

- 企業間連携の強化による工数・工期の解像度向上と、それによる工事の計画的な遂行及び受注の拡大
- 事業領域拡大に向けた技術者の育成とガス工事以外の利益確保

技術力向上と サービスの拡充

- 提案力強化に向けたマーケティング活動から整備やオーバーホールの受注拡大を目指す
- 教育体制のプログラム化や各階層別教育の拡充により、社員のキャリアプランに応じた成長の促進と技術力の向上を図る
- ZEBプランナーとしての取り組み強化やエネマネ等のコンサルタント事業の拡大

総合エネルギーグループへの進化

経済性・環境性に優れたエネルギーサービスの総合提案の実現

GXの推進

- Jクレジット制度の活用によるカーボンニュートラル実現への活動促進
- 富山市内における森林保全活動推進
- CNガスの供給拡大

Green & Smile Club



環境配慮型商品の販売拡大

- 新たなエネルギーサービスの提案強化
- コージェネレーション普及拡大への継続的な取組み



レジリエンスに優れた提案の強化



停電対応GHPの導入や、コージェネレーションシステムを活用した設備構成提案など徹底したBCP提案の拡大

エネルギー提案の多角化

エネルギーコンサルタント領域の拡大

- エネルギーの見える化提案推進
- お客さま志向のソリューション提案による信頼構築
- ZEBプランナーとしての取り組み強化



グループシナジーの強化

お客さまニーズの共有と
グループ間連携による
トータルサービスの提供

GAS Energy Communication COMPANY 日本海ガス

SAPIA 株式会社サプラ

Metegas モット日本海ガス

「つなぐ」を創造する。
株式会社 北陸電設

N+

トータルライフ事業の実現

お客さまのくらしのすべてをサポートするトータルライフ事業の実現



新築事業・リフォーム事業

- 住まいの提案を通して快適で豊かなくらしをお届けし、ウェルビーイングの向上に寄与
- 地域の不動産会社と連携し、リノベーション住宅の販売を促進



飲食店事業・食品販売事業

- 「食」を中心としたサービスを提供し、地域の皆さまの日々の生活を豊かに
- 「食」の分野のみならず生活に関連する新たな事業、サービスの発掘と展開を進める



デジタルコミュニケーション基盤の開発と活用

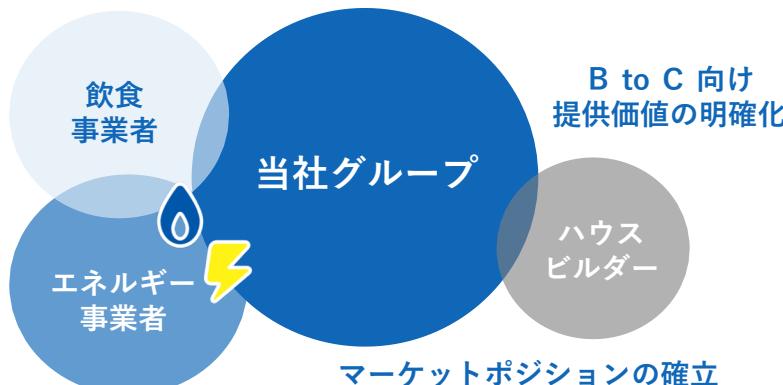
お客さま視点を重視した基盤を開発し、
お客さまとのコミュニケーション方法の改革を目指す



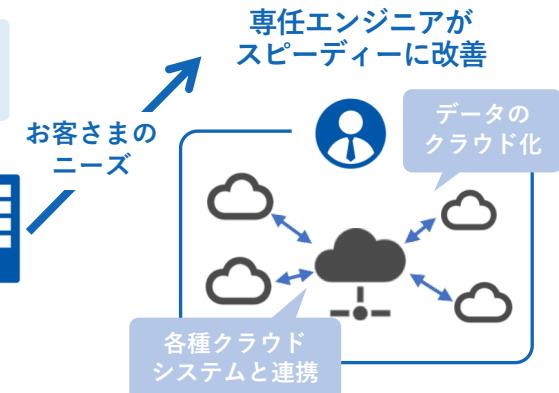
保険・リース事業

取り扱うリース形態を拡充させ、
お客さまのニーズに応じた最適な提案

くらしのすべてをサポートするトータルライフ事業の実現



コミュニケーション改革 スピーディーな業務改善



新たな事業の創出

エネルギー事業で培った基盤を活かし、新たな事業の創出



オープンイノベーションの推進

- オープンイノベーションによる新たな事業領域の探索と進出
- グループ社員の新規事業に対する興味関心の向上、新規事業創出に向けた機運醸成



持続可能な投資の実行

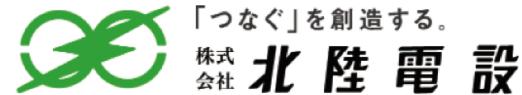
CVC活動による新たな事業領域の探索



共創プラットフォームの構築

- 地元企業や北陸地域の起業家、全国のスタートアップと連携し、地域経済の活性化に貢献
- 大学生のアントレプレナーを支援することで大学発ベンチャーの創出に貢献

グループ一丸となって目標を達成し、地域の発展に貢献してまいります!



株式会社日本海ラボ

有限会社 七尾ホームサービス

TOSUMO
tosumo life style

